

(仮称) 青森市自殺対策行動計画の基本方向 (案) について

1 計画策定の目的

自殺は、その多くが追い込まれた末の死であり、自殺の背景には、精神保健上の問題だけでなく、過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめや孤立などの様々な社会的要因があると知られています。青森市では、青森市総合計画前期基本計画に掲げる自殺予防を含めた「こころの健康づくり」を進めるため、本市自殺対策の取組を具体化し、総合的に推進していくための事業計画として、また、自殺対策基本法第13条第2項に規定する、国の自殺総合対策大綱及び都道府県自殺対策計画等を勘案した地域自殺対策計画として「(仮称) 青森市自殺対策行動計画」を策定します。

2 計画期間

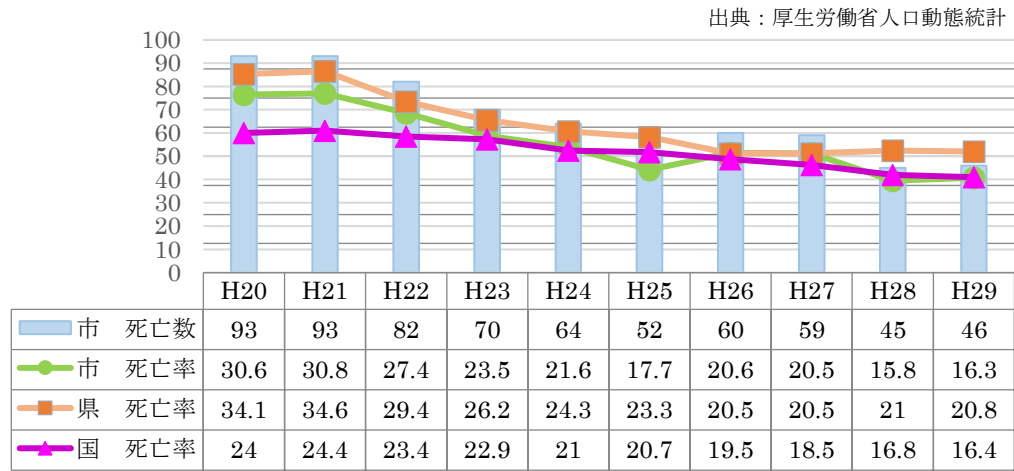
計画の期間は、令和2年度から令和5年度までの4年間です。

3 青森市の自殺の現状

1) 自殺率は減少傾向

H20年：30.6, H25年：17.7, H29年：16.3

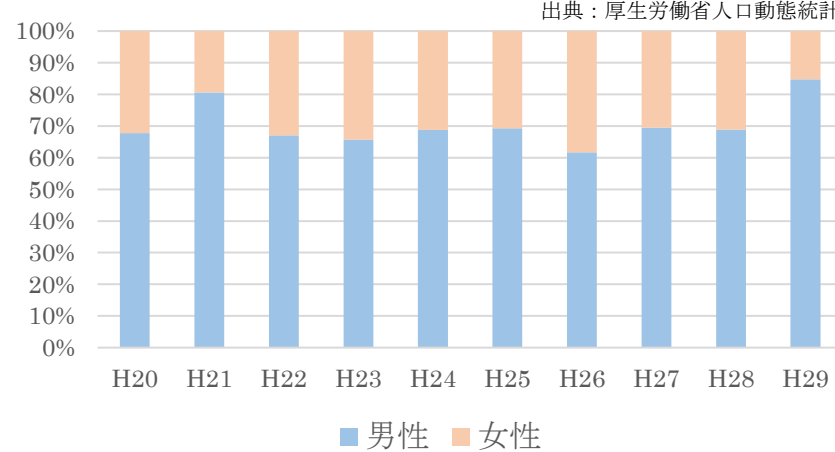
自殺による死亡者数・死亡率の推移 (人口10万人当たりの自殺者数)
出典：厚生労働省人口動態統計



2) 男性自殺者が多い

H29年男女比 約 8 : 2

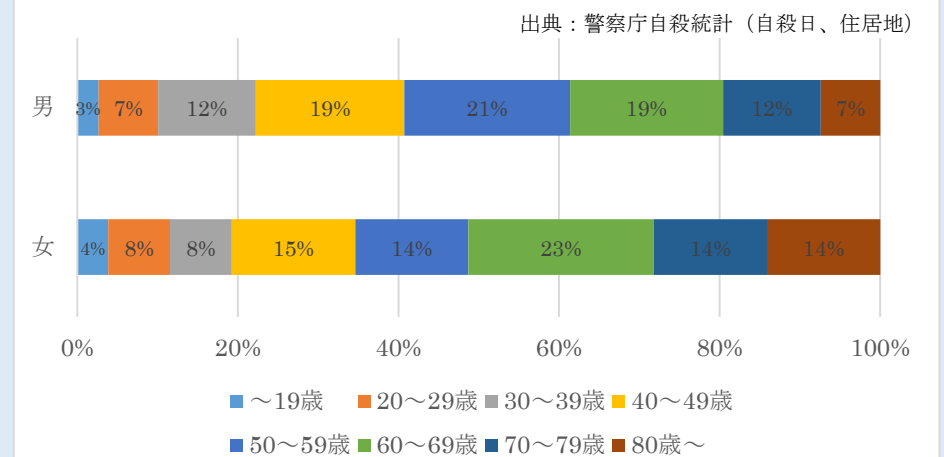
自殺による死亡者数 (男女比)
出典：厚生労働省人口動態統計



3) 男性は「働き盛り世代」、女性は「60歳以上」の割合が大きい

男性 30～59歳：52% , 女性 60歳以上：51%

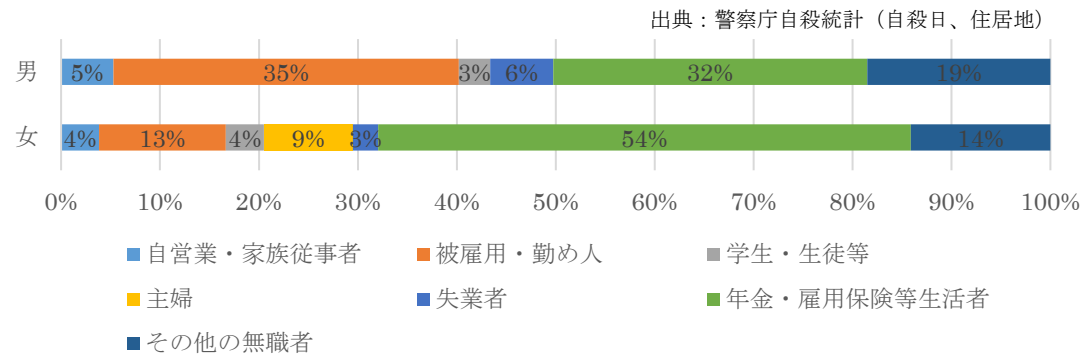
男女の年齢別割合 (H25～H29年合計)
出典：警察庁自殺統計 (自殺日、住居地)



4) 男性は被雇用・勤め人、女性は年金・雇用保険等生活者の割合が大きい

男性：被雇用・勤め人 35% , 女性：年金雇用保険等生活者 54%

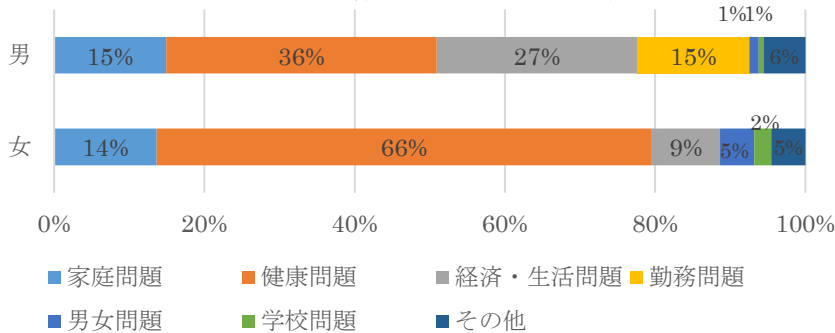
職業別の割合 (H25～H29年合計)
出典：警察庁自殺統計 (自殺日、住居地)



5) 「健康問題」と「経済・生活問題」が多い

健康問題：42% , 経済・生活問題：23%

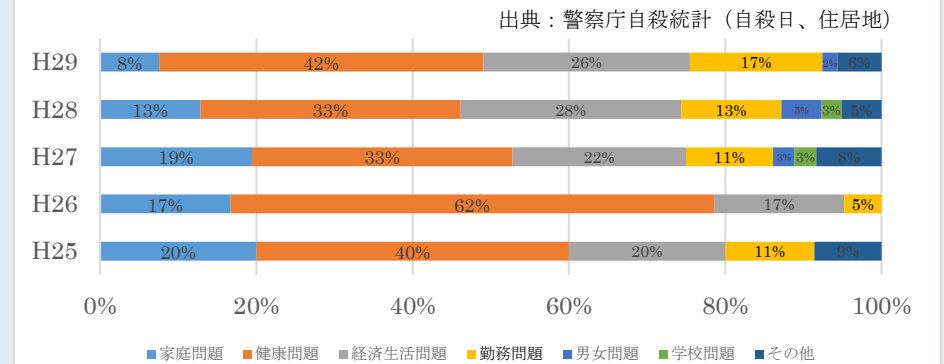
原因・動機の割合 (H25～29年合計) 不詳除く
出典：警察庁自殺統計 (自殺日、住居地)



6) 「勤務問題」の割合が増加傾向

H25年：11% ⇒ H29年：17%

原因・動機の推移 (不詳を除く)
出典：警察庁自殺統計 (自殺日、住居地)



4 「地域自殺実態プロフィール」による青森市の特徴

* 「地域自殺実態プロフィール」とは、国の自殺総合対策推進センターが分析した、社会的要因を含む自殺の原因・背景、自殺にいたる経過等を都道府県、市町村毎に主な自殺の特徴を抽出したデータ。

～青森市の自殺者で多い区分～

- 自殺の上位を占めているのは 40歳以上の男性 で、中でも 60歳以上・無職・同居者有り は、1位。
- 女性・60歳以上・無職・同居者有り は3位で、男女ともに60歳以上・無職・同居者有り は上位
- 男性の 40～59歳 は、職や同居者の有無を問わず上位。

出典：地域自殺実態プロフィール【2018 最新版】(特別集計 (自殺日・住居地、H25～29 合計))

青森市の重点施策の目安として、
推奨されている施策群

- 「高齢者」
- 「生活困窮者」
- 「無職者・失業者」

青森市の自殺の上位区分

上位5区分	自殺者数5年計	割合
1位: 男性・60歳以上・無職・同居者有り	42	15.7%
2位: 男性・40～59歳・無職・同居者有り	25	9.4%
3位: 女性・60歳以上・無職・同居者有り	25	9.4%
4位: 男性・40～59歳・有職・同居者有り	23	8.6%
5位: 男性・40～59歳・無職・独居	18	6.7%